

## 第20回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第20回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2020年4～6月期の業況は「悪化」。
- 業況D.I.は、調査開始(2015年7～9月期)以来、最低の水準。新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い業種の業況が悪化している。
- 2020年7～9月期の業況は「やや改善」する見通し。

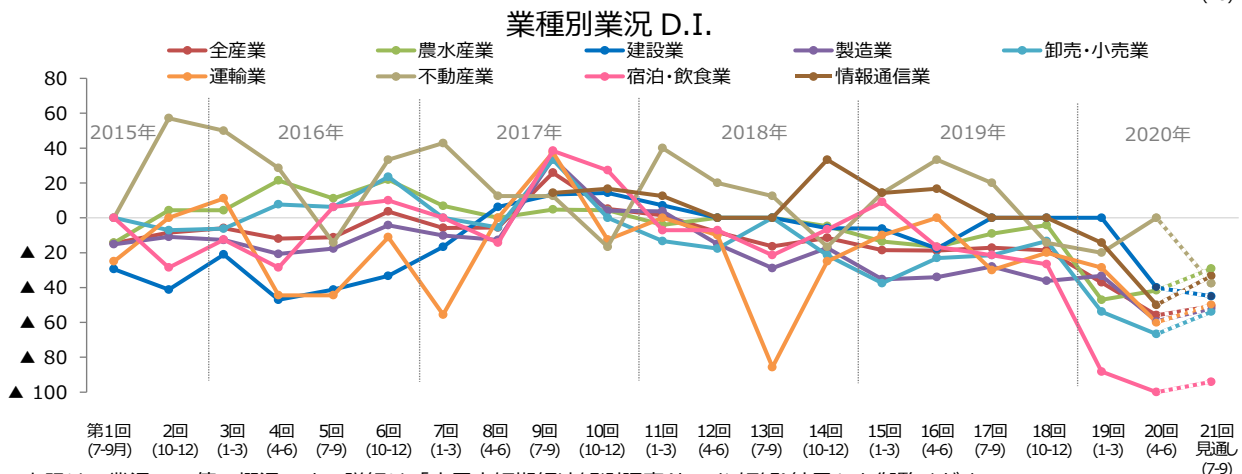
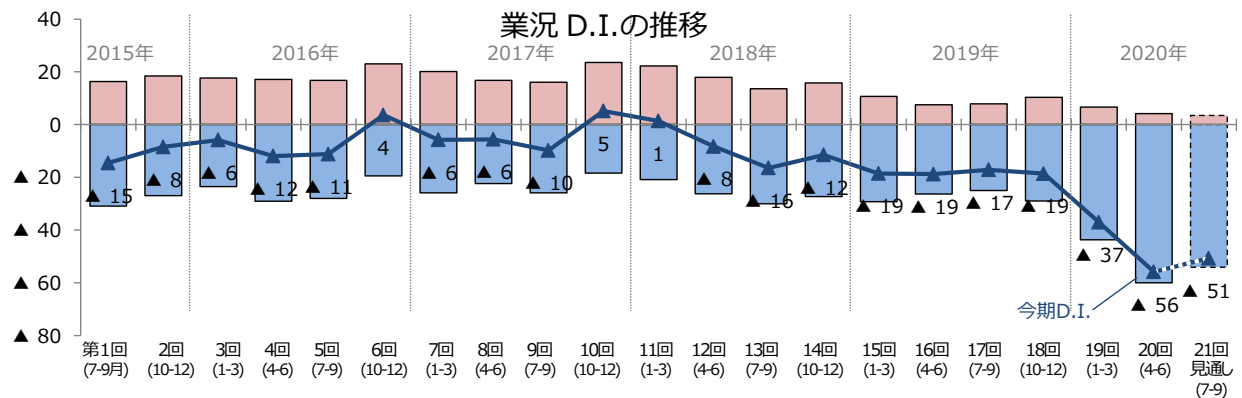
### 業況D.I.

○今期は▲56(良い<悪い)と、前期(▲37)より悪化。

- 全体としては9期連続のマイナスで、調査開始(2015年7～9月期)以来、最低の水準となった。
- 前年同期(▲19)と比較すると、大幅に悪化。
- 業種別では、不動産業(前期▲20→今期0)と農水産業(前期▲47→今期▲42)を除く全ての業種で下落・悪化し、特に、建設業(前期0→今期▲40)、情報通信業(前期▲14→今期▲50)は大幅に下落・悪化した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により外出や旅行の自粛などで需要が低迷した宿泊・飲食業(今期▲100)、卸売・小売業(今期▲67)、運輸業(今期▲60)のD.I.は特に低水準となっている。

○来期は▲51(良い<悪い)と、やや改善する見通し。

- 業種別では、不動産業(今期0→来期▲38)と建設業(今期▲40→来期▲45)を除く全ての業種で改善する見通しであるが、依然としてD.I.は低水準となっており、先行き不透明な状況が続く。



※ 上記は、業況D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○今期は▲56(良い&lt;悪い)と、前期(▲37)より悪化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢全体としては9期連続のマイナスで、調査開始(2015年7~9月期)以来、最低の水準となった。</li> <li>➢前年同期(▲19)と比較すると、大幅に悪化。</li> <li>➢業種別では、不動産業(前期▲20→今期0)と農水産業(前期▲47→今期▲42)を除く全ての業種で下落・悪化し、特に、建設業(前期0→今期▲40)、情報通信業(前期▲14→今期▲50)が大幅に悪化した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により外出や旅行の自粛などで需要が低迷した宿泊・飲食業(今期▲100)、卸売・小売業(今期▲67)、運輸業(今期▲60)のD.I.も低水準となっている。</li> </ul> <p>○来期は▲51(良い&lt;悪い)と、やや改善する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、不動産業(今期0→来期▲38)と建設業(今期▲40→来期▲45)を除く全ての業種で改善する見通しであるが、依然としてD.I.は低水準となっており、先行き不透明な状況が続く。</li> </ul>
生産高 D.I.	<p>○今期は▲57(増加&lt;減少)と、前期(▲25)より大幅に悪化した。</p>
売上・完工高 D.I.	<p>○今期は▲58(増加&lt;減少)と、前期(▲38)より大幅に悪化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、不動産業(前期▲17→今期0)が改善、農水産業(前期▲47→今期▲48)が横ばいとなったほかは、全て悪化。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた宿泊・飲食業(前期▲71→今期▲94)のほか、建設業(前期▲14→今期▲53)や製造業(前期▲33→今期▲66)、情報通信業(前期▲29→今期▲50)も大幅に悪化した。</li> </ul> <p>○来期は▲54(増加&lt;減少)と、やや改善する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、製造業(今期▲66→来期▲49)が改善、情報通信業(今期▲50→来期0)が大幅に改善する一方で、不動産業(今期0→来期▲50)が大幅に下落、建設業(今期▲53→来期▲65)が悪化し、農水産業(今期▲48→来期▲48)など4業種が横ばいとなる見通し。</li> </ul>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が12%、「適正」が66%、「不足」が22%、D.I.は▲9(過剰&lt;不足)となり、前期(▲2)よりやや悪化した。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○今期は▲18(上昇&lt;下落)と、前期(▲2)より悪化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、不動産業(前期0→今期20)は大幅に上昇した一方、建設業(前期20→今期▲28)、運輸業(前期17→今期▲25)、卸売・小売業(前期15→今期▲7)は大幅に下落し、マイナスに転じた。</li> </ul> <p>○来期は▲21(上昇&lt;下落)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、上昇・改善する業種はない見通し。</li> </ul>
原材料仕入単価 D.I.	<p>○今期は24(上昇&gt;下落)と、前期(37)より下落。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、情報通信業(前期25→0)と建設業(前期63→今期39)とは大幅に下落した。</li> </ul> <p>○来期は26(上昇&gt;下落)と、横ばいとなる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、運輸業(今期17→来期33)や宿泊・飲食業(今期31→来期44)が上昇する一方で、不動産業(今期50→来期40)が下落、製造業(今期25→来期21)がやや下落する見通し。</li> </ul>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲31(楽&lt;苦しい)と、前期(▲22)よりやや悪化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、情報通信業(前期0→今期17)が上昇、卸売・小売業(前期0→今期0)が横ばいとなったものの、不動産業(前期17→今期▲14)が大幅に下落した。</li> </ul> <p>○来期は▲34(楽&lt;苦しい)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢業種別では、今期大幅に下落した不動産業(今期▲14→来期0)が改善、建設業など4業種が横ばいとなるものの、情報通信業(今期17→来期0)は下落する見通し。</li> </ul>

概 況	
雇 用 人 員 D . I .	<p>○今期は▲26(過剰&lt;不足)と、前期(▲36)より改善。</p> <p>➢業種別では、宿泊・飲食業(前期6→今期▲18)は大幅に下落した一方で、不動産業(前期▲33→今期0)、運輸業(前期▲71→今期▲40)は大幅に改善した。依然として人手不足感はあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う営業自粛などにより、労働需給が緩んだ。</p> <p>➢鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2020年5月の有効求人倍率は1.10倍となっている。5月の有効求人数(パート含む)は3,092人、有効求職者数(パート含む)は2,813人となっている。</p> <p>○来期は▲31(過剰&lt;不足)と、やや悪化する見通し。</p> <p>➢業種別では、不動産業(今期0→来期▲29)と大幅に下落し、全ての業種がマイナス圏になり、人手不足感がやや強まる見通し。</p>
損 益 D . I .	<p>○今期は▲52(好転&lt;悪化)と、前期(▲37)より悪化。</p> <p>➢業種別では、卸売・小売業(前期▲57→今期▲50)がやや改善、農水産業(前期▲35→今期▲33)が横ばいになるものの、製造業(前期▲34→今期▲61)、建設業(前期▲5→今期▲30)、運輸業(前期▲29→今期▲50)は大幅に悪化した。</p> <p>○来期は▲49(好転&lt;悪化)と、やや改善する見通し。</p> <p>➢業種別では不動産業(今期▲17→来期▲67)が大幅に悪化する一方で、情報通信業(今期▲50→来期▲17)が大幅に改善する見通し。</p>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 180 先

( 農水産業 35 先、建設業 22 先、製造業 57 先、卸売・小売業 20 先  
 不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 )

回答数：149 件 回答率：82.8%

2 調査時期： 2020 年 7 月

3 対象期間： 2020 年 4～6 月期実績(今期)、2020 年 7～9 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第20回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

項目	2020年1～3月 前 期				2020年4～6月 今 期					2020年7～9月 来 期 見 通 し						
	状況	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 今	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)		
															前	回
<b>自社の業況(景況感)</b>		<b>7</b>	<b>50</b>	<b>44</b>	<b>▲37</b>	<b>4</b>	<b>36</b>	<b>60</b>	↓	<b>▲56</b>	<b>▲59</b>	<b>3</b>	<b>42</b>	<b>54</b>	↑	<b>▲51</b>
農水産業		6	41	53	▲47	8	42	50	↑	▲42	▲56	8	54	38	↓	▲29
建設業		10	81	10	0	0	60	40	↓	▲40	▲30	0	55	45	↓	▲45
製造業		10	46	44	▲33	4	33	63	↓	▲59	▲67	4	40	56	↑	▲52
卸売・小売業		0	46	54	▲54	0	33	67	↓	▲67	▲62	0	46	54	↑	▲54
運輸業		0	71	29	▲29	0	40	60	↓	▲60	▲71	0	50	50	↑	▲50
不動産業		0	80	20	▲20	29	43	29	↑	0	▲20	13	38	50	↓	▲38
宿泊・飲食業		0	12	88	▲88	0	0	100	↓	▲100	▲93	0	6	94	↑	▲94
情報通信業		14	57	29	▲14	0	50	50	↓	▲50	▲43	0	67	33	↑	▲43
<b>生産高(製造業)</b>		<b>19</b>	<b>38</b>	<b>44</b>	<b>▲25</b>	<b>9</b>	<b>26</b>	<b>65</b>	↓	<b>▲57</b>	<b>▲52</b>	<b>9</b>	<b>40</b>	<b>51</b>	↑	<b>▲43</b>
<b>売上・完工高</b>		<b>12</b>	<b>39</b>	<b>49</b>	<b>▲38</b>	<b>7</b>	<b>28</b>	<b>65</b>	↓	<b>▲58</b>	<b>▲60</b>	<b>3</b>	<b>39</b>	<b>58</b>	↑	<b>▲54</b>
農水産業		16	21	63	▲47	8	36	56	↓	▲48	▲58	0	52	48	↓	▲48
建設業		10	67	24	▲14	0	47	53	↓	▲53	▲35	0	35	65	↓	▲65
製造業		17	33	50	▲33	9	17	74	↓	▲66	▲65	6	38	55	↑	▲49
卸売・小売業		8	38	54	▲46	14	21	64	↓	▲50	▲75	0	50	50	↑	▲50
運輸業		0	57	43	▲43	0	50	50	↓	▲50	▲71	0	50	50	↑	▲50
不動産業		17	50	33	▲17	29	43	29	↑	0	0	13	25	63	↓	▲50
宿泊・飲食業		0	29	71	▲71	0	6	94	↓	▲94	▲93	0	6	94	↑	▲94
情報通信業		14	43	43	▲29	0	50	50	↓	▲50	▲29	17	67	17	↑	0
<b>製品・商品在庫 (適正水準比)</b>		<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	<b>▲2</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	↓	<b>▲9</b>						
農水産業		18	76	6	12	4	71	25	↓	▲21						
建設業		0	76	24	▲24	0	59	41	↓	▲41						
製造業		16	74	9	7	19	65	17	↓	2						
卸売・小売業		15	77	8	8	31	69	0	↑	31						
運輸業		0	100	0	0	0	67	33	↓	▲33						
不動産業		0	80	20	▲20	25	50	25	↑	0						
宿泊・飲食業		0	75	25	▲25	8	62	31	↑	▲23						
情報通信業		0	100	0	0	0	100	0	-	0						
<b>製(商)品販売単価</b>		<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>▲2</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	↓	<b>▲18</b>	<b>▲10</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	↓	<b>▲21</b>
農水産業		11	61	28	▲17	8	54	38	↓	▲29	▲33	4	61	35	↓	▲30
建設業		25	70	5	20	6	61	33	↓	▲28	▲16	6	61	33	↑	▲28
製造業		6	77	17	▲11	0	88	13	↓	▲13	▲16	0	84	16	↓	▲16
卸売・小売業		23	69	8	15	0	93	7	↓	▲7	7	0	93	7	↑	▲7
運輸業		17	83	0	17	0	75	25	↓	▲25	0	0	63	38	↓	▲38
不動産業		20	60	20	0	40	40	20	↑	▲20	▲25	40	40	20	↑	▲20
宿泊・飲食業		14	57	29	▲14	0	69	31	↓	▲31	▲31	0	69	31	↑	▲31
情報通信業		0	100	0	0	17	67	17	-	0	17	0	83	17	↓	▲17
<b>原材料仕入単価</b>		<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>▲3</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	↓	<b>▲24</b>	<b>▲29</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	↑	<b>▲26</b>
農水産業		22	78	0	22	25	71	4	↓	21	17	21	79	0	↑	▲21
建設業		63	37	0	63	39	61	0	↓	39	58	44	56	0	↑	▲44
製造業		40	56	4	36	32	61	7	↓	25	29	29	64	7	↑	▲21
卸売・小売業		31	62	8	23	14	79	7	↓	7	21	14	79	7	↑	▲7
運輸業		20	80	0	20	33	50	17	↓	17	▲20	33	67	0	↑	▲33
不動産業		33	67	0	33	50	50	0	↑	50	33	40	60	0	↑	▲40
宿泊・飲食業		57	36	7	50	44	44	13	↓	31	31	50	44	6	↑	▲44
情報通信業		25	75	0	25	20	60	20	↓	0	25	20	60	20	↑	▲20
<b>資金繰り</b>		<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>▲22</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	↓	<b>▲31</b>	<b>▲36</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	↓	<b>▲34</b>
農水産業		5	70	25	▲20	8	56	36	↓	▲28	▲25	8	52	40	↓	▲32
建設業		5	76	19	▲14	0	74	26	↓	▲26	▲25	0	74	26	↑	▲26
製造業		4	67	29	▲25	0	67	33	↓	▲33	▲48	0	57	43	↓	▲43
卸売・小売業		7	86	7	0	14	71	14	-	0	0	14	71	14	↑	▲0
運輸業		0	57	43	▲43	0	44	56	↓	▲56	▲57	0	44	56	↑	▲56
不動産業		17	83	0	17	14	57	29	↓	▲14	0	29	43	29	↑	▲0
宿泊・飲食業		0	38	63	▲63	0	31	69	↓	▲69	▲80	0	31	69	↑	▲69
情報通信業		14	71	14	0	17	83	0	↑	17	0	17	67	17	↓	▲0
<b>雇用人員</b>		<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>▲36</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	↑	<b>▲26</b>	<b>▲32</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	↓	<b>▲31</b>
農水産業		11	58	32	▲21	17	57	26	↑	▲9	▲11	9	61	30	↓	▲22
建設業		5	14	81	▲76	0	40	60	↑	▲60	▲80	0	40	60	↑	▲60
製造業		8	52	40	▲31	15	48	38	↑	▲23	▲20	6	55	38	↓	▲32
卸売・小売業		0	71	29	▲29	7	71	21	↑	▲14	▲36	14	64	21	↑	▲7
運輸業		0	29	71	▲71	0	60	40	↑	▲40	▲71	0	60	40	↑	▲40
不動産業		17	33	50	▲33	14	71	14	↑	0	▲40	0	71	29	↓	▲29
宿泊・飲食業		24	59	18	6	29	24	47	↓	▲18	7	24	29	47	↓	▲24
情報通信業		0	29	71	▲71	0	50	50	↑	▲50	▲57	0	67	33	↑	▲33
<b>損益</b>		<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>▲37</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	↓	<b>▲52</b>	<b>▲60</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	↑	<b>▲49</b>
農水産業		10	45	45	▲35	8	50	42	↑	▲33	▲50	4	58	38	↑	▲33
建設業		10	76	14	▲5	0	70	30	↓	▲30	▲35	0	65	35	↓	▲35
製造業		13	40	47	▲34	6	27	67	↓	▲61	▲64	4	42	54	↓	▲50
卸売・小売業		7	29	64	▲57	7	36	57	↑	▲50	▲79	7	50	43	↑	▲36
運輸業		0	71	29	▲29	10	30	60	↓	▲50	▲57	10	20	70	↓	▲60
不動産業		17	67	17	0	17	50	33	↓	▲17	▲20	0	33	67	↓	▲67
宿泊・飲食業		0	18	82	▲82	0	6	94	↓	▲94	▲93	0	6	94	↑	▲94
情報通信業		0	57	43	▲43	0	50	50	↓	▲50	▲57	17	50	33	↑	▲17

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。